

生駒市総合計画 第2期基本計画 施策別シートに係る意見・質問票

施策4:学校教育

項目	ご意見・ご質問	各課回答
令和9年度末にめざす状態 (施策目標)		
施策の主な方向性	<p>①(1)-①に関して、大学・企業・地域団体等とは、どことどの様な取組をしているのか(松山委員)</p> <p>②(2)-②に関して、ICTをはじめとした教育機器の今後の更新時期の計画は立てているのか。不 必要なアプリ利用制限やウイルス対策についてはどうか。(松山委員)</p>	<p>①【教育指導課】 奈良先端科学技術大学院大学、奈良工業高等専門学校、株式会社ユニーク、株式会社Yogibo、 Code for IKOMA等、科学に関する授業、キャリア教育等の取組です。</p> <p>②【教育指導課】 R7年度から新ネットワークへの移行に向け計画進行中です。アプリの利用制限やウイルス対策があ ります。</p>
市民や事業者ができることの 主な取組イメージ	<p>①「どの子どもに対しても関わりを持つ」「おいしい学校給食を提供する」を追加してはどうか。前者 は見守りにつなげ、後者は食文化や食育のための場にするようつなげるイメージである。(藤尾委 員)</p>	<p>①【教育総務課(学校給食センター)】 保護者や地域住民がどの子どもに対しても関わりを持つことは、「地域に開かれ、地域とともにあ る学校づくり」を推進するために、重要であると考えているため記載しています。 また、おいしい学校給食を提供することは、学校給食の目標であり、課題でもあると考えます。 学校給食が食文化や食育の場となり、市民や事業者の協力により、おいしい学校給食の提供につな がるのであれば望ましいと考えています。</p>
施策の進捗状況を図る 代表的な指標		
その他		

施策5:高齢者支援・障がい者支援

項目	各課回答	各課回答
令和9年度末にめざす状態 (施策目標)		
施策の主な方向性	<p>①(2)-②に関して、認知症の高齢者を守るキーホルダーの配布状況はどうか。認知症サポーター養成講座を受けた方の、その後の活動状況についてはどうか。(松山委員)</p> <p>②(3)-①に関して、障がい者が安心して生活できる体制の充実について具体的にはどういった取組を行っているか。市内企業で何人の方が働いているのか、また法定雇用率を達成しているのか。(松山委員)</p>	<p>①【地域包括ケア推進課】 ・行方不明になるリスクがある認知症等の高齢者に、事前にSOSネットワークに登録してもらい、その際、キーホルダーと反射シールを配布しており、R5.10.11日現在、228名がキーホルダーを持っている。 ・認知症サポーター養成講座は、認知症の正しい知識を得てもらう講座であり、広く市民の方や事業者を受講いただき、受講いただいた方はすべて認知症サポーターになります。認知症サポーターは、特別なことをする訳ではなく、認知症を正しく理解する応援者です。 ・認知症サポーター養成講座を受講した際、受講後アンケートで、市や地域包括支援センター主催の認知症などに関する講座のご案内を了承していただいた場合は、「認知症支援隊養成講座」のご案内をし、その中から、「認知症支援隊」としての活動に繋がっています。 (R4年度支援隊養成講座 受講実人数 39人 うち支援隊登録者22人) (R4年度末 支援隊総数 92人)</p> <p>②【障がい福祉課】 ・障がいのある方向けに総合的な相談窓口である生活支援センターでの相談支援事業を行っています。また、地域生活支援拠点事業として、一人暮らしの方やそれに近い生活をされている方を対象とした生活相談窓口の設置や、将来的に一人暮らしを目指す方向けに一人暮らしのイメージをつかんでもらうための宿泊体験の場を提供しています。 ・企業の障がい者雇用状況の集計については、奈良労働局が管轄となるので、市は把握していません。なお、奈良労働局からR4年度の県内企業の実雇用率は2.91%(法定2.3%)で全国2位という高い水準であるとの発表がありますが、奈良労働局へ確認したところ、市町村単位での雇用者数や雇用率までは集計できていないとの回答でした。</p>
市民や事業者ができることの 主な取組イメージ		
施策の進捗状況を図る 代表的な指標		
その他		

施策6:地域福祉

項目	各課回答	各課回答
令和9年度末にめざす状態 (施策目標)		
施策の主な方向性	<p>①(1)-①に関して、ヤングケアラーの実態把握はできているのか。(松山委員)</p> <p>②(1)-②に関して、孤独・孤立対策について具体的な取組内容が決まっているのか(松山委員)</p>	<p>①【教育指導課】R4年度、県主催のアンケートを実施しました。</p> <p>②【サミット推進室】孤独・孤立対策ポータルサイトを作成し、孤独・孤立に関する支援策・相談先を一覧化することで、情報発信を強化していくことを検討しています。また、孤独・孤立に課題を抱えている方に対してアウトリーチ(訪問調査)を試行的に実施し、結果の検証等を行うことを考えています。</p>
市民や事業者ができることの 主な取組イメージ		
施策の進捗状況を図る 代表的な指標	<p>① I に関して、重層的支援体制整備事業が始まり、いこまる相談窓口での相談件数、また相談に来られない人の把握についてはどうか。(松山委員)</p>	<p>①【福祉政策課】相談件数の報告は年に1度を予定しているため今年度は未集計ですが、一次相談窓口の支援者から福祉政策課へ相談があった件数は9月末で13件となっています。</p> <p>令和6年度からアウトリーチ事業を実施予定。実施方法については現在検討中であり、まずは支援者へのヒヤリングなどで実態把握に努めたい。</p>
その他		